

## 平成 25 年度 第 4 回 マザーレイクフォーラム運営委員会 議事録

日時	2013 年 7 月 17 日 (水) 18:15~21:00	
場所	滋賀県庁北新館 4-A 会議室	
出席者 (50 音順、 敬称略)	石河 康久	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	井手 慎司	滋賀県立大学環境科学部
	北田 俊夫	NPO 法人 びわこ豊穡の郷
	佐藤 祐一	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
	関 慎介	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	中野 隆弘	びわ湖エコアイデア倶楽部
	野田 晃弘	NPO 法人蒲生野考現倶楽部
	村井 洋一	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	廣田 大輔	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	望月 孝幸	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	山口美知子	滋賀地方自治研究センター
渡辺 維子	元：公益社団法人滋賀県環境保全協会	

※今回欠席（敬称略）：川端隆弘（公益財団法人淡海環境保全財団）、伊吹美賀子（湖南流域環境保全協議会）、小林泉（滋賀県琵琶湖環境部）、松沢松治（びわ湖の水と地域の環境を守る会）、三和伸彦（滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課）、村上悟（NPO 法人碧いびわ湖）、堀彰男（滋賀県魚のゆりかご水田プロジェクト推進協議会）

### 今回の決定事項（要約）

- ・ びわコミ会議の第 2 部では、テーマ数は全部で 10 程度、2 ターン制とし、グループは途中で組み替える（テーマの変更はしない）。テーマは事前に決定し、進行は運営委員会の委員以外でできるだけ担ってもらえるように依頼を進める。
- ・ エントリーシート・活動登録シートは、流域図にプロットしたものと、その詳細を示した表形式の 2 種類でまとめる。

### 1. チラシの内容について

第 3 回びわコミ会議のチラシの案を佐藤より提示し、その内容について委員より修正意見が提示された。主な変更点は以下の通りである（デザイン変更等の詳細は割愛）。

- ・ 第 1 部：「みんなのつながり大発表会」→「みんなつながる報告会」
- ・ 第 2 部：「琵琶湖のこれから大討論会」→「びわ湖のこれから話さへん？」
- ・ 参加申込に、「第 2 部で話し合いたいテーマ」の記入欄を設ける。→第 2 部のテーマ検討に活用

### 2. びわコミ会議のプログラムについて

#### (1) 第 2 部の進め方

望月氏より、第 3 回びわコミ会議の進行シナリオが 2 案提示された。2 案の違いは、第 2 部でグルー

プの組み替えを行うかどうかという点である。これをベースに議論を行った結果、第 2 部については以下のように進めることとなった。

- ・ テーマ数は全部で 10 程度、2 ターン制とし、グループは途中で組み替える（同じグループに残っても OK）。組み替えた後もテーマは変更せず、新しいメンバーでさらに議論を深めることにする。
- ・ テーマについては当日に募集するのではなく、事前に決定しておく。
- ・ グループの進行は、運営委員会の委員だけではなく、できるだけ **会議参加者** に実施してもらえるようにする。ただし各グループの記録係については運営委員会の委員もしくは関連メンバーで担当できるようにする。
- ・ グループごとに明確な成果を要求することはない。参加者がつながりを見つけることが目的なので、**プロによるファシリテーションのような進行** を想定するのではなく、テーマごとに進行役が中心となって気軽に話し合えるような場とする。
- ・ テーマは「〇〇について」というよりは、「〇〇するには？」というような形で具体的かつ疑問形で設定すると議論がしやすくなる。また、誰でも参加できそうなテーマを 1, 2 設けておく工夫も必要である。
- ・ テーマは琵琶湖の環境保全に直接関わるようなものだけでなく、多様なものを検討する。例えば、教育、メディア、芸術、研究、学生、企業、森、第一次産業等が考えられる。進行役としても、広い視点で琵琶湖と関わっている人に依頼する。
- ・ 趣旨説明は進行シナリオ案（30 分）よりも短くし、1 回目と 2 回目のグループ討論の間に休憩時間を 15 分程度設ける。この間に他のグループの議論を眺められるようにする。また討論はそれぞれ 50 分程度の時間を取れるようにする。

## (2) エントリーシート・活動登録シートのまとめ方

現在収集しているエントリーシート・活動登録シートについて、以下のように整理して当日に配布することとする。

- ・ A4 サイズの琵琶湖流域図（必要に応じて、南湖流域の拡大図、淀川流域図も作成）に、各団体（個人）の活動地域の場所をプロットし、番号を振って別紙でその団体（個人）の名称や概要等を表でまとめる。
- ・ 流域図は全団体（個人）をまとめたもの、活動分野ごとにまとめたものを作成する。

## 3. その他

- ・ 第 2 部の進行役を担っていただけそうな人に、まずは委員から個別に 8/31 の参加可能性を伺う。同時に、エントリーシート・活動登録シートの記載についても依頼する（以上、7 月中）。参加可能であれば、グループの進行やテーマ設定について相談する。
- ・ 次回運営委員会は、第 3 回びわこミ会議の進行に関する最終確認のため、8/26-29 の間で設定する（後日調整）。また 8 月上旬～中旬に、第 2 部の進行役やテーマに関して有志で打ち合わせを行う。

【当日のホワイトボード】

### 4ラウンド

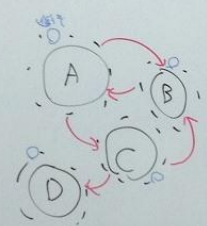
- ・大発表会
- ・(大)報告会
- ・つながり情報大公開
- ・みんな(と)つながる報告会
- ・つながり情報共有
- ・みんなつながり。ちやう報告会

---

- ・これからトーン 学談会
- ・ワークショップ 体験会
- ・ディスカッション 話し合い?
- ・おしゃべり 自由な話し合い...
- ・しゃべり

### プログラム

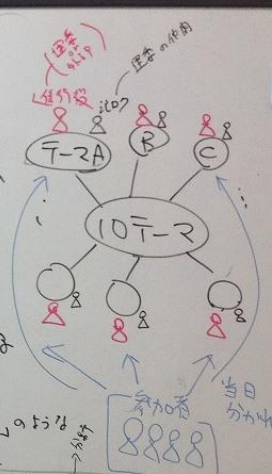
- ・全部で10テーマ → (①当日発表はキーン ⇒ 4ラウンドにテーマ希望欄記入)
- ・報告のまとめは? → 感想程度



- ・趣旨説明は30分お短くていい
- ・テーマ討論時間、15-20分(50分)
- ・自己紹介の時も必要
- ・プロでみていい、ハードル下げ
- ・テーマと進行役だけ決めておく

・グループごとの成果は?

・1回か、2回か?  
→ 色んな人を知りたい



具体的な「お題」の設定  
誰でも行けるテーマも設定

シート

録音

当日の役割

— 以上 —